

シロツメクサ (白詰草)

名前の意味：詰^{いみ}め草^つは、オランダからガラス器具^{きぐ}などこわれやすい物を運ぶ時、パッキングとして利用され、それから芽生えたために名付けられた。白は花の色を示す。

分類：双子葉類、マメ科、シャジクソウ属

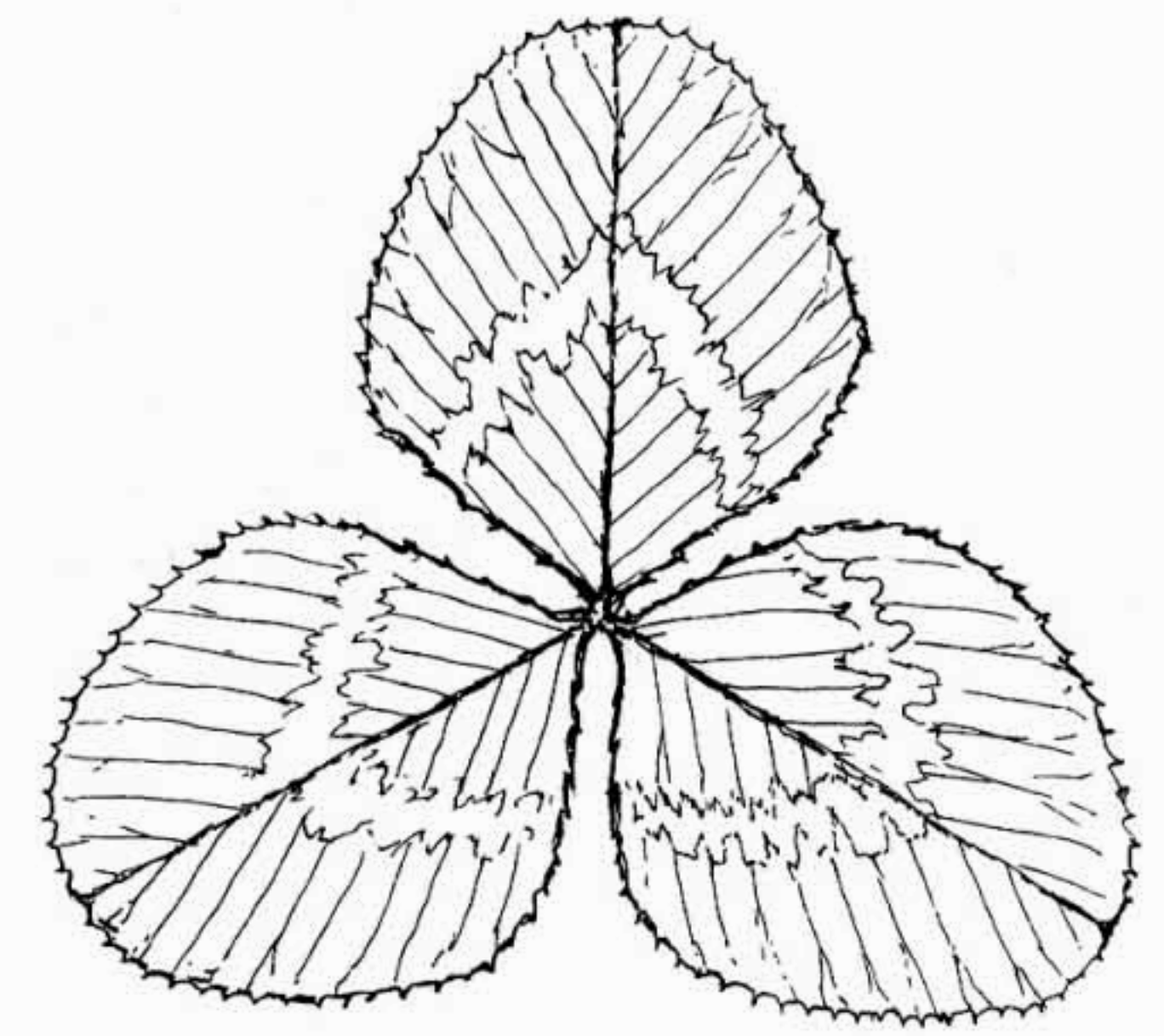
(マメ科の栽培植物^{さいばいしょくぶつ}：エンドウ、アズキ、ソラマメ、ダイズ、ラッカセイ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、空き地

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：ヨーロッパ

特徴：はう茎、3枚に分かれた葉、玉のように集ったたくさんの白い花



3枚に分かれた葉

種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数：5枚、離弁^{りべん} (花びらが1枚ずつ散る)

花の時期：4—5月

食べ方：若い葉は塩ゆでするとおひたしで食べられる

見分け方：アカツメクサとは、茎^{くき}が這^はうこと、葉が小さいこと、花が白いことで区別できる。

見つけやすさ ★

見分けやすさ ★★

総合難易度 ★

(★が多いほど量が少なく、

見分けにくく、難易度が高い)

